

ライスアイランド

RI weekly レポート

回覧用

123

〒500-8322

岐阜市香取町3-38

電話 058(253)0310

FAX 058(252)5115

2006年 3月 4日

vol.152 担当 田崎

～ シリアル・ルネッサンス ～ <http://www.riceisland.co.jp>

フードクス参加産直市場紹介

農Sメンバーの産直市場は、食べる人に近く、さまざまな農産物生産に取り組んでいます。

野菜と花の百円いちば JA 斐川町（島根県）

同JAでは、ひまわりブランドの加工品がいくつかあります。

「ひまわり一番搾り」はビタミンEたっぷりのおいしいオイルです。

極めて希少価値の高い国内産「ヒマワリ油」美容効果と健康増進本物でスグレモノ！！稀少価値の高い国内産ヒマワリ油で一般の植物油と同様な使い方のほか、一般の油に10～50%程度混ぜてお使いいただいても、気品高い香りと味が楽しめます。またお料理好きでない方にも、本品をベースにした簡単ドレッシング作りにチャレンジするのも楽しみです。

地域農業の戦略作物として、まずヒマワリ栽培を掲げビジョンを描きました。最新の搾油設備を導入して、商品化に積極的に取り組んでいます。

JA やさと柿岡農産物直売所（茨城県）

八郷農業は、山あいにある傾斜地や変化に富んだ地形を利用しながら、茨城県伝統の農業を続けております。関東圏で、東京からの脱サラ農業者が多い八郷の農業は、「第1回全国環境保全型農業コンクール」でも表彰を受けるほどです。やさとの特産品で、転作田で栽培した大豆で作った納豆と卵は、有楽町産直市場でも大人気の商品です。

また、農業の研修するための宿泊施設があり、RIの、農業インターンシップ（日本農業新聞2月23日1面目掲載）への取り組みを開始しました。ここから、将来の農業を支える学生が誕生するが楽しみです。

佐野アグリタウン花の停車場 JA 佐野（栃木県）

新商品の柚子マーマレード（無添加作り）は、RIの有楽町産直市場でも一番人気の商品です。JA佐野は、栃木県の西南部に位置し、一年を通して野菜を始め果樹などの農産物が供給でき、近隣にもファーマーズマーケットが点在しています。また、JA出資の農業生産法人「佐野観光農園」は、いちご狩りだけでなく、「グリーン・ツーリズム」の取り組みのひとつとして、周年を通して農作業体験や収穫体験を楽しめます。

夢市場 JA 金山（山形県）

平成17年町全体で、菜種プロジェクトをスタートし、花が咲く6月には景観作物として、その後、菜種を収穫して、菜種油を生産します。商品名は「なたねっこ」。一般の食用油より、触媒を使わないだけに体にも良いし、油は使用後に、廃油として再調整し、バイオ燃料として車の燃料にも使われ、幼稚園バスの運行に一役かっています。

他参加産直市場

- ・ ドラゴンフレッシュセンター JA 秋田やまもと（秋田県）
- ・ JA 熊本うき農産物直売所（熊本県）
- ・ サンチョクプラザ JA 白河運営（福島県）
- ・ JA くりやま直売所（北海道）
- ・ JA 北ひびき剣淵店（北海道）
- ・ 農産物直売所母ちゃんだあすこ JA いわて花巻）岩手県
- ・ ヤクライ土産センター JA 加美よつば（宮城県）
- ・ こぶし産直の会 JA 山形もがみ戸沢支店（山形県）
- ・ 千歳農産物直売所 JA 道央（北海道）
- ・ JA 富岡農産物直売所タカオカピア（富山県）

産直市場では、地元産の農産物加工品（農Sの生産者ブランド）を、食べる人へ売りたいと思っても、課題を乗り越えられず、販売実績がともなわず、迷走しているのが現状です。

そこで、日本の農業の生産現場を知っていただくために、産地物語をPRをして、販売に結び付けていただくことを提案します。

3月14日～17日のFOODEX JAPAN 2006では、上記プラスの生産者の出展があります。ぜひお越しいただき、農業生産現場とのマッチングのお手伝いができることをRIは切望いたします。